

Akita J Med 46 (Suppl) : 177~179, 2019

社会環境医学系

## 法 医 科 学 講 座

(旧法医学)

教	授	美	作	宗	太	郎
講	師	大	島	徹		
助	教	大	谷	真	紀	
技術職員再雇用(兼)		目	黒	ひとみ	(~3月)	
技術職員(兼)		松	尾	悠	平	(4月~)
大学院生		米	山	奈	奈	子

## 原 著 論 文

## A. 審査を経た論文

- 1) Mimasaka, S., Oshima, T. and Ohtani, M. (2018) Visualization of old bruises in children : Use of violet light to record long-term bruises. *Forensic Sci. Int.*, **282**, 74-78.
- 2) Oshima, T., Ohtani, M. and Mimasaka, S. (2018) Injury patterns of fatal bear attacks in Japan : A description of seven cases. *Forensic Sci. Int.*, **286**, e14-e19.
- 3) 大島 徹, 宮田 元, 大谷真紀, 美作宗太郎 (2018) 塞栓子の動態が解剖所見から推測できた出血性脳梗塞の一例. 法医学の実際と研究 **61**, 133-138.
- 4) 市岡宏顕, 櫻田宏一, 齊藤久子, 大谷真紀, 熊谷 渉, 池谷 博 (2018) 歯科臨床医を対象とした死後デンタルチャート作成実習の教育効果. *Forensic Dent. Sci.* **11**, 10-14.

## 学 会 発 表

## A. 国際会議

1. 24th Congress of the International Academy of Legal Medicine (IALM), June, Fukuoka
- 1) Mimasaka, S. (2018) Obtaining macroscopic evidence of child abuse
- 2) Oshima, T., Yoshikawa, H., Yoshitomi, T., Ohtani,

M. and Mimasaka, S. (2018) A case of personal identification by detection of aphakic eyes using postmortem computed tomography

2. ALL TOGETHER BETTER HEALTH IX, September, Auckland, New Zealand

- 1) Kanou, N., Yoneyama, N. and Misumi, J. (2018) Accomplishment and evaluation of SART (sexual assault response team) training program

## B. 国内会議

## (a) 総会・年会

1. 平成30年度日本アルコール関連問題学会, 9月, 京都
- 1) 後藤 恵, 大矢照美, 米山奈奈子, 森天理沙, 中村晃二, 川村良一, 太田裕美, 岩佐良江, 久多良律子 (2018) 医療ネグレクトを超えて: 当事者の治療動機を引き出す技法: 動機付け面接法とドラマセラピーへのお誘い
2. 第11回厚生連病院研修医全国大会 in 秋田, 10月, 秋田
- 1) 美作宗太郎 (2018) 異状死の対応は難しい?

## (b) 地方会

1. 秋田県診療放射線技師会中央支部平成29年度支部総会・学術大会, 2月, 秋田
- 1) 美作宗太郎 (2018) 死後CT (Ai) のメリットとピットフォール
2. 第19回日本法医学会学術北日本地方集会・法医学談話会第105回例会, 9月, 旭川
- 1) 大島 徹, 宮田 元, 大谷真紀, 美作宗太郎

(178)

社会環境医学系 法医学講座

- (2018) 塞栓子の動態が解剖所見から推測できた出血性脳梗塞の一例
- 2) 大谷真紀, 大島 徹, 美作宗太郎 (2018) 菌株模型を生前資料として利用した個人識別
- (c) 研究会
- (i) 全国規模
1. 第2回死因究明・個人識別システム研究会, 4月, 東京
  - 1) 大谷真紀 (2018) 個人識別の現状報告「歯科所見を用いた身元確認の現状を中心に」(秋田県)
- (ii) 地方規模
1. 厚生労働省北海道厚生局平成30年度医療安全に関するワークショップ, 12月, 札幌
  - 1) 美作宗太郎 (2018) 医療関連死は解剖やCTでどこまでわかるのか?

## 報 告 書

- 1) 美作宗太郎 (2018) 損傷の基礎知識と写真撮影法の実際～暴力・虐待の証拠をいかに残すか～. 加納尚美. 日本版性暴力支援チーム研修開発と看護師の調整能力促進. 平成26年度～29年度科学研究費助成事業[基盤研究(B)]. 研究成果報告書, pp. 53-59.

## そ の 他

1. 日本医師会 死体検案研修, 1月・12月, 東京
- 1) 美作宗太郎 (2018) 家庭内虐待, 乳幼児死亡
2. 秋田保護観察所 依存症問題を抱える家族会, 1月・7月・10月, 秋田
- 1) 米山奈奈子 (2018) 依存症を理解する～当事者・家族の回復とは?～(平成29年度第3回, 1月)
- 2) 米山奈奈子 (2018) 薬物依存症と回復～家族にできること～(平成30年度第1回, 7月)
- 3) 米山奈奈子 (2018) 依存症と回復～当事者の語り～(平成30年度第2回, 10月)
3. 秋田市子ども未来センター 相談事業スーパーバイズ及び事例検討会, 1月・8月, 秋田
- 1) 米山奈奈子 (2018) 複雑な家族問題を抱える相談者をどう受け止めるか(平成29年度第2回, 1月)
- 2) 米山奈奈子 (2018) 子ども虐待とDV被害: 相談者をエンパワーできる相談支援をめざして(平成30年度第1回, 8月)
4. 秋田大学地域包括介護支援研修センター お酒と上手につきあう講座, 1月・3月, 秋田
- 1) 米山奈奈子 (2018) ころと社会編
5. 性暴力被害対応チーム (SART) 研修会 in 札幌, 2月, 札幌
- 1) 美作宗太郎 (2018) 損傷の基礎知識と写真撮影法の実際～暴力・虐待の証拠をいかに残すか～
6. 女性の安全と健康のための支援教育センター SANE 講座, 2月・7月, 東京
- 1) 米山奈奈子 (2018) 二次受傷, 感情労働, セルフケア (2月)
- 2) 米山奈奈子 (2018) 法看護の実際～IAFNとは～(7月)
7. 秋田地方裁判所刑事鑑定研究会, 3月, 秋田
- 1) 美作宗太郎 (2018) 被虐待児の損傷鑑定
8. 平成30年度医療事故・紛争対応人材育成講座, 6月, 大阪
- 1) 美作宗太郎 (2018) 診療関連死の剖検, 診療関連死とオートプシーイメージング
9. 秋田地方検察庁講演会, 6月, 秋田
- 1) 美作宗太郎 (2018) 法医学解剖及び法医学診断についての基礎知識
10. 秋田いのちの電話相談員養成講座, 6月, 秋田
- 1) 米山奈奈子 (2018) アルコール・ギャンブル・買い物などの依存症について
11. 秋田保護観察所 平成30年度依存症問題地域支援連絡協議会, 9月, 秋田
- 1) 米山奈奈子 (2018) 関係機関における薬物依存症者に対する取り組み及び連携の在り方
12. 秋田北倫理法人会 モーニングセミナー, 9月, 秋田
- 1) 米山奈奈子 (2018) 減酒のすすめ～お酒と人生と, 上手につきあいを考える～
13. 平成30年度医療事故・紛争対応人材育成講座, 10月, 東京
- 1) 美作宗太郎 (2018) 診療関連死の剖検, 診療関連死とオートプシーイメージング
14. 第49回検視と法医学の会, 10月, 秋田
- 1) 美作宗太郎 (2018) 全国の検案担当医はどのような疑問を持っているか～日本医師会死体検案研修会の総合質疑応答から～
15. 秋田県心の健康福祉会 平成30年度ころの

- 健康市民講座, 10月, 秋田
- 1) 米山奈奈子(2018) ころと身体健康-人間関係と暴力の影響-
  16. 岩手県歯科医師会 平成30年度法歯学セミナー, 10月, 盛岡
    - 1) 大谷真紀(2018) 歯科 X線口外撮影法の個人識別への応用
  17. 秋田南児童相談所虐待対応のためのスーパーバイザー研修, 11月, 横手
    - 1) 美作宗太郎(2018) 損傷検査と写真撮影法～虐待の証拠をどのように残すか～
  18. 市立角館総合病院医療安全研修会, 11月, 角館
    - 1) 美作宗太郎(2018) 法医学からのフィードバック～医療関連死はどこまで解明できるのか?～
  19. 秋田大学市民公開講座 援助職のためのセルフケア支援講座, 11月, 秋田
    - 1) 米山奈奈子, 猪股祥子, 鈴木圭子, 永田美奈加(2018) 心の燃え尽きを予防する, ストレス対処法を学ぶ
  20. 全国女性会館協議会・秋田県中央男女共同参画センター 女性の相談に携わる人のための実践研修, 11月, 秋田
    - 1) 米山奈奈子(2018) 関係機関の連携による支援と相談の実施について(事例検討), より良い支援とさらなるスキルアップのために
  21. 秋田県アルコール関連問題啓発フォーラム, 11月, 秋田
    - 1) 米山奈奈子(2018) アルコール健康障害の発生予防から回復支援まで

Akita J Med 46 (Suppl) : 181~183, 2019

社会環境医学系

## 環境保健学講座

(旧衛生学)

教授	村田勝敬
非常勤講師	照井鉄・茂木隆
	塚田三香子・三浦進一
	堀田修・永井伸彦
講師	前田恵理 (4月~)
助教	岩田豊人
大学院生	榎真美子 (~3月)
	高山裕子
技術系補佐員	平山純子 (3月~)

## 著書

- 1) 前田恵理 (2018) 適切な意思決定をする上で必要な、正しい知識獲得の重要性。齊藤英和、杉森裕樹 (編) 男性も女性も知っておきたい妊娠・出産のリテラシー。大修館書店、東京、pp. 83-103.

## 総説・解説

- 1) 村田勝敬, 岩田豊人, 前田恵理, 菊田香苗 (2018) 環境保健研究のジレンマ。日衛誌 **73**, 148-155.
- 2) 坂本峰至, 中村政明, 村田勝敬 (2018) 地球規模汚染物質としての水銀とその曝露評価および健康影響。日衛誌 **73**, 258-264.

## 原著論文

## A. 審査を経た論文

- 1) Sakamoto, M., Chan, H.M., Domingo, J.L., Koriyama, C. and Murata, K. (2018) Placental transfer and levels of mercury, selenium, vitamin E, and docosahexaenoic acid in maternal and un-

bilical cord blood. *Environ. Int.*, **111**, 309-315.

- 2) Maeda, E., Ishihara, O., Tomio, J., Sato, A., Terada, Y., Kobayashi, Y. and Murata, K. (2018) Caesarean section rates and related factors in Japan: a nationwide ecological study using the National Database of health insurance claims. *J. Obstet. Gynaecol. Res.*, **44**, 208-216.
- 3) Sawada, Y., Araie, M., Kasuga, H., Ishikawa, M., Iwata, T., Murata, K. and Yoshitomi, T. (2018) Focal lamina cribrosa defect in myopic eyes with nonprogressive glaucomatous visual field defect. *Am. J. Ophthalmol.*, **190**, 34-49.
- 4) Sakamoto, M., Tatsuta, N., Chan, H.M., Domingo, J.L., Murata, K. and Nakai, K. (2018) Brain methylmercury uptake in fetal, neonate, weanling, and adult rats. *Environ. Res.*, **167**, 15-20.
- 5) Karita, K., Iwata, T., Maeda, E., Sakamoto, M. and Murata, K. (2018) Assessment of cardiac autonomic function in relation to methylmercury neurotoxicity. *Toxics*, **6** (3), 38.
- 6) Sakamoto, M., Tatsuta, N., Izumo, K., Phan, P.T., Vu, L.D., Yamamoto, M., Nakamura, M., Nakai, K. and Murata, K. (2018) Health impacts and biomarkers of prenatal exposure to methylmer-

- cury : lessons from Minamata, Japan. *Toxics*, **6** (3), 45.
- 7) Tatsuta, N., Nakai, K., Sakamoto, M., Murata, K. and Satoh, H. (2018) Methylmercury exposure and developmental outcomes in Tohoku study of child development at 18 months of age. *Toxics*, **6**(3), 49.
- 8) Maeda, E., Boivin, J., Toyokawa, S., Murata, K. and Saito, H. (2018) Two-year follow-up of a randomised controlled trial : knowledge and reproductive outcome after online fertility education. *Hum. Reprod.*, **33**, 2035-2042.
- 9) Sawada, Y., Araie, M., Shibata, H., Ishikawa, M., Iwata, T. and Yoshitomi, T. (2018) Optic disc margin anatomic features in myopic eyes with glaucoma with spectral-domain OCT. *Ophthalmology*, **125**, 1886-1897.
- 10) Tanaka, O., Maeda, E., Iwata, T. and Murata, K. (2018) Quantitative significance of ethanol intake, eating patterns, and sleep duration affecting lipid profiles in middle-aged employees. *Akita J. Med.*, **45**, 51-62.
- 11) Sasaki, H., Iwata, T., Maeda, E. and Murata, K. (2018) An analysis of factors associated with personal and perceived stigma against talking about suicide in a rural Japanese community. *Akita J. Med.*, **45**, 113-120.

#### B. 審査を経ない論文

- 1) 榎真美子, 前田恵理, 岩田豊人, 村田勝敬 (2018) コールセンター従業員における職業性ストレスと睡眠時間の関係. 秋田公衛誌 **14**, 15-21.
- 2) 金正めぐみ, 前田恵理, 村田勝敬 (2018) 本邦女子医学生への妊娠・出産に関する意識及び知識調査. 秋田公衛誌 **14**, 29-34.

- 1) Maeda, E., Boivin, J., Toyokawa, S., Murata, K. and Saito, H. (2018) Two-year follow-up of a randomised control trial : knowledge and reproductive outcome after online fertility education
- 2) Maeda, E. and Saito, H. (2018) Various Japanese attempts to raise fertility awareness and stop declining fertility rates

#### B. 国内会議

##### (a) 総会・年会

1. 第 89 回日本衛生学会学術集会, 名古屋
- 1) 村田勝敬 (2018) 水俣病～メチル水銀中毒
- 2) 龍田 希, 笠沼勇一, 山科沙織, 佐藤 洋, 坂本峰至, 村田勝敬, 仲井邦彦 (2018) 12 歳児の血中重金属類濃度: 東北コホートの結果から
- 3) 前田恵理, 村田勝敬, 熊澤由紀代, 佐藤 亘, 白澤弘光, 岩澤卓也, 出雲公子, 龍田 希, 坂本峰至, 寺田幸弘 (2018) 環境化学物質の妊孕性への影響 - 患者対照研究
- 4) 堀口兵剛, 小熊悦子, 大森由紀, 中嶋克行, 斎藤秀俊, 小平 司, 横山和仁, 千葉百子, 松川岳久, 小松田敦, 村田勝敬, 内田正美 (2018) カドミウム汚染地域住民におけるメタロチオネイン産生能と腎尿管機能障害との関係

##### (b) 地方会

1. 第 77 回日本産業衛生学会東北地方会
- 1) 榎真美子, 前田恵理, 岩田豊人, 村田勝敬 (2018) コールセンター従業員における職業性ストレスと睡眠時間の関係

##### (c) 研究会

##### (ii) 地方規模

1. 秋田県臨床細胞学会総会
- 1) 前田恵理 (2018) 新しい時代のリプロダクティブヘルスを考える

#### 学 会 発 表

##### A. 国際会議

1. Prenatal Programming and Toxicity (PPTOX) VI Conference, Faroe Islands, Denmark
- 1) Karita, K., Iwata, T. and Murata, K. (2018) Interpretation of heart rate variability in light of methylmercury neurotoxicity : a review
2. 34th Annual Meeting of ESHRE, Barcelona, Spain

#### 報 告 書

- 1) 村田勝敬, 莉田香苗, 吉田 稔, 龍田 希, 仲井邦彦, 岩井美幸, 柳沼 梢, 坂本峰至, 岩田豊人, 前田恵理 (2018) 平成 29 年度メチル水銀曝露による健康影響に関するレビュー. 平成 29 年度環境省委託業務報告書水俣病に関する総合的研究 (重金属による健康影響に関する総合的研究). 日本エヌ・ユー・

- エス株式会社, pp. 131-169.
- 2) Iwata, T., Sakamoto, M., Karita, K. and Murata, K.  
(2018) 食品中の水銀およびメチル水銀に関連する公衆衛生上のリスクについての科学的  
見解 (翻訳). 平成 29 年度環境省委託業務報告書 水俣病に関する総合的研究 (重金属による健康影響に関する総合的研究). 日本エヌ・ユー・エス株式会社, pp. 171-412.

Akita J Med 46 (Suppl) : 185~188, 2019

社会環境医学系

## 公衆衛生学講座

(旧公衆衛生学)

教授	野村恭子
非常勤講師	伊藤善信 (秋田県健康福祉部参事)
助教	ヨン キム フォン ロザリン
	南園 佐知子
再雇用技術職員	中村 洋子

## 原著論文

## A. 審査を経た論文

- 1) 野村恭子 (2018) 少子高齢化秋田県における公衆衛生学的課題. 田県公衆衛生学会雑誌 **14** (1), 1-9.
- 2) Yong Kim Fong Roseline, 豊島優人, 藤田幸司, 佐々木久長 (2018) ひきこもりと生活習慣, 心理社会的要因およびソーシャルキャピタルとの関連. 秋田県公衆衛生学会雑誌 **14** (1), 22-28.
- 3) 吉岡 希, 野村恭子, 浅山 敬, 竹之下真一, 長澤 徹, 中田善規, 平池春子, 笹森幸文, 土谷明子, 大久保孝義, 冲永寛子 (2018) 私立総合大学附属病院の女性看護師における職業性ストレスと身体症状との関連. 日本衛生学会雑誌 **73** (3), 388-394.
- 4) Nomura, K., Kido, M., Tanabe, A. and Ando, K. (2018) Pre-pregnancy obesity as a risk factor for exclusive breastfeeding initiation in Japanese women. *Nutrition*, **62**, 93-99. doi : 10.1016/j.nut.2018.11.003. [Epub ahead of print]
- 5) Satoh, M., Asayama, K., Kikuya, M., Inoue, R., Tsubota-Utsugi, M., Obara, T., Murakami, K., Matsuda, A., Murakami, T., Nomura, K., Metoki, H., Imai, Y. and Ohkubo, T. (2018) Nocturnal blood pressure decline based on different time intervals and long-term cardiovascular risk : the Ohasama Study. *Clin. Exp. Hypertens.*, **40** (1),

1-7. doi : 10.1080/10641963.2016.1259324. Epub 2017 Nov 27.

- 6) Takeuchi, M., Nomura, K., Horie, S., Okinaga, H., Perumalswami, C.R. and Jaggi, R. (2018) Direct and Indirect Harassment Experiences and Burn-out Among Academic Faculty in Japan. *Tohoku Journal of Experimental Medicine*, **245** (1), 37-44. doi : 10.1620/tjem.245.37.
- 7) Hanazawa, T., Asayama, K., Watabe, D., Tanabe, A., Satoh, M., Inoue, R., Hara, A., Obara, T., Kikuya, M., Nomura, K., Metoki, H., Imai, Y. and Ohkubo, T. (2018) on behalf of Hypertension Objective Treatment Based on Measurement by Electrical Devices of Blood Pressure (HOMED-BP) investigators. Association between amplitude of seasonal variation in self-measured home blood pressure and cardiovascular outcomes : HOMED-BP study. *Journal of American Heart Association*, **7** (10). pii : e008509. doi : 10.1161/JAHA.117.008509.
- 8) Michihiro, S., Murakami, T., Asayama, K., Hirose, T., Kikuya, M., Inoue, R., Tsubota-Utsugi, M., Murakami, K., Matsuda, A., Hara, A., Obara, T., Kawasaki, R., Nomura, K., Metoki, H., Node, K., Imai, Y. and Ohkubo, T. (2018) N-terminal Pro B-type Natriuretic Peptide is not a significant predictor of stroke incidence after 5 years : the Ohasama study. *Circulation Journal*, **82** (8), 2055-2062. doi : 10.1253/circj.CJ-17-

1227. Epub 2018 Jun 9.

- 9) Sato, H., Narita, S., Tsuchiya, N., Koizumi, A., Nara, T., Kanda, S., Numakura, K., Tsuruta, H., Maeno, A., Saito, M., Inoue, T., Satoh, S., Nomura, K. and Habuchi, T. (2018) Impact of early changes in serum biomarkers following androgen deprivation therapy on clinical outcomes in metastatic hormone-sensitive prostate cancer. *BMC Urology*, **18**(1), 32. doi: 10.1186/s12894-018-0353-4.

## 学 会 発 表

### A. 国際会議

1. The 23rd World Congress of International Association of Child and Adolescent Psychiatry and Allied Professions, Prague
  - 1) Yong, R., Sasaki, H., Fujita, K. and Nomura, K. (2018) The Association between hikikomori and mental health problems: a national cross-sectional study
  - 2) Yong, R. (2018) Exploring the efficacy of a peer-support focused rehabilitation program on attitudes and behavioral changes for people with hikikomori syndrome

### B. 国内会議

#### (a) 総会・年会 シンポジウム

1. 第77回日本公衆衛生学会総会, 10月, 福島
  - 1) 野村恭子 (2018) 震災後の自殺・メンタルヘルス対策～研究成果から具体的な対策へ (座長)

#### 演題発表

1. 第88回日本衛生学, 3月, 東京
  - 1) 齋藤宏子, 野村恭子, 田辺杏由美, 平池春子 (2018) 大学病院勤務看護師におけるの身体症状とバーンアウトの関連
  - 2) 田辺杏由美, 野村恭子, 齋藤宏子, 平池春子 (2018) 医学部付属病院で働く女性看護師における職場のサポートと離職意向との関連
  - 3) 永島一範, 長澤 徹, 田辺杏由美, 竹之下真一, 平池春子, 沖永寛子, 野村恭子 (2018) 科研費若手研究採択医師におけるメンター尺度の関連・続報
  - 4) 永島一範, 長澤 徹, 田辺杏由美, 竹之下真一,

平池春子, 沖永寛子, 野村恭子 (2018) メンターの特性とメンティーの精神疲労感との関連の件

2. 第20回 日本在宅医学会記念大会, 4月, 東京
  - 1) 木村琢磨, 野村恭子, 川越正平, 和座一弘 (2018) 新専門医制度“総合診療専門医”を志向する「病院に勤務する臓器・領域内科専門医」の在宅医療研修に関する認識
3. 第7回臨床高血圧フォーラム, 5月, 京都
  - 1) 藤田彩未, 原 梓, 浅山 敬, 佐藤倫広, 朝倉佳桜里, 菊谷昌浩, 井上隆輔, 坪田 恵, 野村恭子, 日時弘仁, 今井 潤, 大久保孝義 (2018) 自由行動下血圧により定義した白衣高血圧・仮面高血圧の頸動脈病変: 大迫研究
  - 2) 朝倉佳桜里, 原 梓, 浅山 敬, 佐藤倫広, 藤田彩未, 菊谷昌浩, 井上隆輔, 坪田 恵, 野村恭子, 日時弘仁, 今井 潤, 大久保孝義 (2018) 睡眠時間と潜在性脳血管病変の関連: 大迫研究
4. 第91回日本産業衛生学会, 5月, 熊本
  - 1) 野村恭子, 井上雄貴, 竹之下真一, 平池春子, 笹森幸文, 土谷明子, 沖永寛子 (2018) 看護師の離職意向に影響を及ぼす要因の検討
5. 第59回日本心身医学会総会, 6月, 名古屋
  - 1) 野村恭子, 吉岡 希, 竹之下真一, 中田善規, 平池春子, 浅山 敬, 笹森幸文, 土谷明子, 大久保孝義, 沖永寛子 (2018) 私立総合大学附属病院の女性看護師における職業性ストレスと不定愁訴数との関連
6. 第50回医学教育学会, 8月, 東京
  - 1) 大野真理子, 長澤 徹, 大久保孝義, 土谷明子, 平池春子, 沖永寛子, 野村恭子 (2018) 女性の働きやすい職場についての尺度の開発
  - 2) Nomura, K., Hiraike, H. and Okinaga, H. (2018) Organizational Support and a Mentor alleviate Burnout of Japanese Physician-Researchers
7. 第20回骨粗鬆症学会, 10月, 長崎
  - 1) 坂なつみ, 野村恭子, 谷原真一, 渡部欣忍, 河野博隆 (2018) 橈骨遠位端骨折受傷後の骨粗鬆症ガイドライン遵守率は低い—レセプトデータベースを用いた調査—
8. 第40回日本臨床栄養学会, 10月, 東京
  - 1) 服部綾香, 朝倉比都美, 平池春子, 磯島 豪, 日野優子, 野村恭子, 児玉浩子 (2018) 授乳婦の栄養摂取状況と体重変動



## 9. 第77回日本公衆衛生学会総会, 10月, 福島

- 1) 南園佐知, 野村恭子 (2018) 外来処方されている向精神薬の等価換算値の性・年齢・地域分布
- 2) Yong, R., Fujita, K. and Sasaki, H. (2018) Indicators for hikikomori in rural Japan: jobless and loneliness
- 3) Nomura, K. and Kido, M. (2018) Pre-pregnancy obesity as a risk factor for exclusive breastfeeding initiation in Japanese women

## (b) 地方会

## 1) シンポジウム・依頼講演

1. 秋田県若者支援フォーラム「ひきこもりと自殺・日本と香港の実態」開催, 3月
  - 1) 野村恭子, ヨン・ロザリン (2018) (ファシリテータ) 若者支援フォーラム「ひきこもりと自殺・日本と香港の実態」
2. 秋田県若者支援交流会ワークショップ開催, 3月
  - 1) 野村恭子, ヨン・ロザリン (2018) (ファシリテータ) 若者支援交流会ワークショップ
3. ランチセミナー: ひきこもり支援の実態: 日本と香港の対話, 3月
  - 1) 野村恭子 (2018) (ファシリテータ) ひきこもり支援の実態: 日本と香港の対話
  - 2) ヨン・ロザリン (2018) (講演) 内閣府の2010 ひきこもり調査2次分析: 親子関係とメンタルヘルス

## 2) 演題発表

1. 第67回東北公衆衛生学会会事, 7月, 宮城
  - 1) 野村恭子, 南園佐知子, 朝倉比都美, 服部綾香, 平池春子, 日野優子, 磯島 豪, 児玉浩子 (2018) 都内某大学病院で正期産単胎を出産した授乳婦の分娩後1か月時点における栄養摂取状況の検討
  - 2) 南園佐知子, 野村恭子, 平池春子, 日野優子, 朝倉比都美, 服部綾香, 磯島 豪, 児玉浩子 (2018) 都内某大学病院で正期産単胎分娩後1か月時点における母乳成分の検討.
2. 第77回日本産業衛生学会東北地方会, 7月, 仙台
  - 1) 野村恭子, 南園佐知子, 平池春子, 沖永寛子 (2018) 医療系総合大学教員における離職意向に関する仕事と家庭の要因の検討
3. 第33回日本国際保健医療学会東日本地方会, 7

月, 筑波

- 1) 玉井葉奈, 宮地貴士, 松尾耀乃, 星あゆむ, 古川紀光, 森迫ゆり子, 藤井彩乃, 野村恭子 (2018) ステークホルダー分析によるザンビア・マケニ村での診療所建設に対する村人のオートノミーに影響を与える因子の検討
4. 秋田県公衆衛生学会, 10月, 秋田
    - 1) 南園佐知子, 煙山菜月, 野村恭子, ヨン・ロザリン (2018) 都道府県別の人工妊娠中絶と各種指標の相関分析による人工妊娠中絶比に影響を与える要因の検討
    - 2) ヨン・ロザリン, 佐々木久長 (2018) 地域公衆衛生の現場: 研究と実践の循環-長期ひきこもりの社会復帰に関する壁
    - 3) 湊 隆文, 野村恭子, 朝倉比都美, 服部綾香, 平池春子, 日野優子, 磯島 豪, 児玉浩子 (2018) 都内某大学病院で正期産単胎を出産した母親の分娩後半年間の追跡調査: 分娩後1, 3, 6か月の母親の栄養摂取状況が与えるこどもの体重増加への影響
    - 4) 日置 梓, 野村恭子, 南園佐知子, Yong Kim Fong Roseline, 朝倉比都美, 服部綾香, 平池春子, 日野優子, 磯島 豪, 児玉浩子 (2018) 母親の誤ったBMI認識が及ぼす産後の体重の戻りと及び栄養摂取状況への影響
  5. 第21回就労女性健康研究会(日本産業衛生学会分科会), 10月, 東京
    - 1) 南園佐知子, 野村恭子, 井上雄貴, 平池春子, 土谷明子, 沖永寛子 (2018) 看護師のバーンアウトに影響を及ぼす要因の検討

## (c) 研究会

## (i) 全国規模

## シンポジウム

1. 日本健康教育学会, 7月
  - 1) 野村恭子 (2018) 男女共同参画活動の組織展開と政治家へのアドボカシーの一例
2. 日本耳鼻咽喉科心身医学研究会, 10月
  - 1) 野村恭子 (2018) 耳鼻咽喉科心身医学の臨床研究推進に向けたメンターの役割と環境整備
3. 福島県立医科大学男女共同参画講演会, 10月
  - 1) 野村恭子 (2018) 男女共同参画推進のエビデンス~疫学研究の結果から学ぶもの~
4. 日本医師会認定産業医学研修会(基礎・生涯)
  - 1) 野村恭子 (2018) 「女性労働者の健康管理」(後期・専門 1単位) 招待講演・講師

(188)

社会環境医学系 公衆衛生学講座

(ii) 地方規模  
シンポジウム

1. 自殺対策ミニシンポジウム：地域取り組み交流会，10月

1) 野村恭子，ヨン・ロザリン（2018）（ファシリテータ）自殺対策ミニシンポジウム：地域取り組み交流会

2) ヨン・ロザリン（2018）（講演）地域取り組み交流会～自殺の現象

## 招待講演・講師

1. 秋田県がん診療連携協議会，2月

1) 野村恭子（2018）Population health and regional variations of disease burden in Japan, 1990-2015: a systematic subnational analysis for the Global Burden of Disease Study 2015 解説

2. 秋田大学医学教育研究診療助成会総会，6月

1) 野村恭子（2018）秋田県の健康寿命延伸に向けた有効的な取り組み

3. 秋田県保健師会研修会，6月

1) 野村恭子（2018）秋田県における衛生指標からみた保健活動への期待から健康寿命に向けて

4. 秋田魁新報，7.28

1) 野村恭子（2018）秋田食と健康

5. 秋田県医師会共催男女共同参画委員会企画，9月

1) 野村恭子（2018）帝京大における女性研究者支援

6. 大仙健康増進センター企画研修，9月

1) 野村恭子（2018）保健活動に活かす衛生統計データの現場での応用

7. 第37回由利本荘・にかほ市民医学講座，9月

1) 野村恭子（2018）公衆衛生の視点から見る秋田県の今日的課題

8. 秋田県がん患者団体連絡協議会，11月

1) 野村恭子（2018）エビデンスから考えよう！がん予防に向けた健康秋田食

9. にかほ市由利本荘医師会講演会，11月

1) 野村恭子（2018）ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチを応用した健康寿命延伸の新たな提案

10. 北秋田地域振興局 小坂保健所，11月

1) 野村恭子（2018）ソーシャルキャピタルと健康寿命

11. フレイル予防啓発セミナー，12月

1) 野村恭子（2018）秋田県の健康状態の現状について

12. 秋田魁新報，3.25

1) ヨン・ロザリン（2018）つながり・求めて：若者たちの居場所特輯：踏み出す勇気支える

13. CGNTV，6月

1) ヨン・ロザリン（2018）ドキュメンタリー＜道＞

14. NPO 法人光希屋（家）BIG ISSUE，7月

1) ヨン・ロザリン（2018）ひきこもりの30～50代が気楽に立ち寄れる居場所—体験と自立と就職を応援できる場にした—

15. 山形県立看護大学 学部生2コマ，6月

1) ヨン・ロザリン（2018）ひきこもりの実態と居場所

16. 山形県立看護大学 大学院生ゼミ，6月

1) ヨン・ロザリン（2018）ひきこもりの実態と居場所

Akita J Med 46 (Suppl) : 189~192, 2019

社会環境医学系

## 医学教育学講座

教 授 長谷川 仁 志  
 准 教 授 Wood, Donald C.  
 助 教 新 保 麻 衣

## 著 書

- 1) 長谷川仁志 (2018) 臨床医学教育. 医学教育白書 2018 年版 ('15 ~'18). 篠原出版新社, pp. 55-59.

## 総 説・解 説

- 1) 新保麻衣 (2018) アルコール性心筋症. 心エコー **19**(2), 198-203.

## 原 著 論 文

## A. 審査を経た論文

- 1) Wood, D.C. (2018) Disease is Always Cultural : Medical Anthropology for Future Physicians at Akita University, *Journal of Medical English Education*, **17**(1), 50-58.
- 2) Shimbo, M., Watanabe, H., Sato, K., Yamamoto, H. and Ito, H. (2018) Simultaneous appearance of intracardiac masses following chemotherapy in a patient with lung cancer. *Eur. Heart J. Cardiovasc. Imaging*, **19**(1), 119.
- 3) Watanabe, H., Shimbo, M. and Ito, H. (2018) A Cardiac Calcified Amorphous Tumor Associated with End-stage Renal Disease : An Emerging Disease Concept. *Internal Medicine*, **56**(22), 1-2.
- 4) Nara, I., Ino, T., Watanabe, H., Sato, W., Watanabe, K., Shimbo, M., Umetsu, Y. and Ito, H. (2018) Morphological Determinants of Obstruc-

tive Hypertrophic Cardiomyopathy Obtained Using Echocardiography. *International Heart Journal*, **59**(2), 339-346.

- 5) 新保麻衣, 梅田有理, 奈良育美, 木村俊介, 佐藤和奏 (2018) たこつぼ心筋症における左室 myocardial work の経時的評価. *超音波医学* **45**, S643.
- 6) 飯野貴子, 梅田有理, 新保麻衣, 佐藤和奏, 渡邊博之 (2018) 心尖部瘤合併中部閉塞型肥大型心筋症における左室内血流動態の特徴. *超音波医学* **45**, S643.
- 7) 高橋智映, 佐藤和奏, 田村明日美, 戸島洋子, 新保麻衣 (2018) 高血圧を契機に発見された過剰血管を伴う左腎動脈高度狭窄, 右低形成腎の若年症例. *超音波医学* **45**, S862.

## B. 審査を経ない論文

- 1) Wood, D.C. (2018) Teaching Medical Anthropology to Future Physicians : Content-based EMP for Cultural Competence, Critical Thinking, and Cosmopolitanism. *Journal of Medical English Education*, **17**(3), 139-142.

## その他

- 1) 長谷川仁志 (2018) Webを活用した世界レベルのアクティブラーニングの充実をめざして. 総合推進教育センター フォーラム **37**.
- 2) 長谷川仁志 (2018) 本来, 各段階における医学・医療教育は, 医学・医療の進歩と将来の医療体制を見越して, むしろ一歩も二歩も先を進んでいなければ, 社会への責任を果たしているとは言えない (発言). *薬事日報* 2018.5.25, 1.

- 3) 長谷川仁志, 水野敦典 (2018) 薬学教育が医学教育から学べること 一歩・二歩進んだ実践力を養成へ (対談). 薬事日報 2018.9.3, 8-14.
- 4) Wood, D.C. (2018) Shiraiwa-yaki Reborn: Re-inventing a lost Edo-period Pottery Tradition in Kakunodate, Akita Prefecture. *Kyoto Journal*, **91**, (<https://kyotojournal.org/online-special/shiraiwa-yaki-reborn/>).
- (2018) 病棟看護師が行った休日の心臓リハビリテーションの取り組み
- 3) 高橋裕介, 小坂俊光, 新保麻衣, 相原健志, 河野恵子, 渡邊博之 (2018) 心肺運動負荷中の微小循環—若年者を対象とした検討
- 4) 高橋裕介, 新保麻衣, 小坂俊光, 相原健志, 河野恵子, 真壁 伸, 加藤 宗, 渡邊博之 (2018) 左室補助人工心臓離脱後にカウンセリングを継続し, 復職に至った周産期心筋 症の一例
- 5) 相原健志, 小坂俊光, 新保麻衣, 高橋裕介, 河野恵子, 山谷麻実子, 工藤尚也, 利 緑, 佐々木郁子, 渡邊博之 (2018) 心臓リハビリテーションへの意欲が低い患者への専従看護師の関わり
- 6) 利 緑, 高橋裕介, 相原健志, 新保麻衣, 小坂俊光 (2018) 看護学生の心臓リハビリテーションに対する認識

## 学 会 発 表

## B. 国内会議

## (a) 総会・年会

1. 第 82 回日本循環器学会学術集会, 3 月, 大阪
- 1) Shimbo, M. (2018) Usefulness of Ultrasound for Evaluating Skeletal Muscle Loss in Patients with Aortic Dissection during Acute Phase
- 2) 高橋裕介, 小坂俊光, 新保麻衣, 相原健志, 河野恵子, 真壁 伸, 小山 崇, 飯野健二, 渡邊博之 (2018) 若年健常者における心肺運動負荷試験中の微小循環の解析
2. 日本超音波医学会 第 91 回学術集会, 6 月, 神戸
- 1) 佐藤和奏, 飯野貴子, 梅田有里, 新保麻衣, 渡部久美子, 渡邊博之 (2018) SMI を用いた高安静脈炎の活動性評価
- 2) 新保麻衣, 梅田有理, 奈良育美, 木村俊介, 佐藤和奏, 飯野貴子, 渡邊博之 (2018) たこつぼ型心筋症における左室 myocardial work の経時的評価
- 3) 飯野貴子, 梅田有理, 新保麻衣, 佐藤和奏, 渡邊博之 (2018) 尖部瘤合併中部閉塞型肥大型心筋症における左室内血流動態の特徴
3. 第 3 回日本肺高血圧・肺循環学会学術集会, 6 月, 大阪
- 1) 新保麻衣, 渡邊博之 (2018) 化学療法が奏功したリンパ形質細胞性リンパ腫合併肺高血圧症
4. 第 24 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会, 7 月, 横浜
- 1) 新保麻衣 (2018) 質の評価に関する検討 慢性期 (退院支援) (U40 特別企画)
- 2) 工藤尚也, 山谷麻実子, 相原健志, 高橋裕介, 小坂俊光, 新保麻衣, 小林禎子, 渡邊博之

5. 第 21 回日本医学英語教育学会, 7 月, 東京
- 1) Wood, D.C. (2018) Teaching Medical Anthropology to Future Physicians: Content-based EMP for Cultural Competence, Critical Thinking, and Cosmopolitanism
6. 第 50 回日本医学教育学会, 8 月, 東京
- 1) 百瀬 和, 菅原正伯, 蓮沼直子, 佐藤和奏, 新保麻衣, 長谷川仁志 (2018) e-ラーニングと OSCE をハイブリッドして実践力を保証する次世代型薬剤師セミナーの開発
7. 第 3 回日本薬学教育学会大会, 9 月, 東京
- 1) 長谷川仁志 (2018) 6 年間で幅広く繋ぐシームレスなアクティブ・ラーニング (シンポジウム)
- 2) 百瀬 和, 蓮沼直子, 長谷川仁志 (2018) e-ラーニングと OSCE をハイブリッドして実践力を保証する次世代型薬剤師セミナーの開発

## (b) 地方会

1. 第 43 回日本心血管インターベンション治療学会東北地方会, 1 月, 盛岡
- 1) 加藤 宗, 関勝 仁, 須藤佑太, 岩川英弘, 木村俊介, 新保麻衣, 真壁 伸, 飯野健二, 渡邊博之 (2018) ヘパリン起因性血小板減少症およびプロテイン S 欠乏症を背景に, ステント血栓症と左室内血栓を呈した急性心筋梗塞の一例
2. 日本超音波医学会第 55 回東北地方会学術集会,

- 3月, 仙台
- 1) 梅田有理, 佐藤和奏, 奈良育美, 木村俊介, 新保麻衣, 飯野貴子, 渡邊博之(2018) 重複下大静脈による若年性深部静脈血栓症の一例
  - 2) 木村俊介, 佐藤和奏, 飯野貴子, 新保麻衣, 渡部久美子, 佐藤輝紀, 貝森亮太, 奈良育美, 梅田有理, 渡邊博之(2018) 頸部腫脹にて発症した椎骨動静脈瘻の一例
3. 第166回日本循環器学会東北地方会, 6月, 盛岡
- 1) 三浦 健, 佐藤輝紀, 新保麻衣, 奈良育美, 山中卓之, 関 勝仁, 飯野健二, 渡邊博之, 田中郁信, 山浦玄武, 山本浩史, 佐藤 誠(2018) 急性心タンポナーデを繰り返す右房腫瘍症例
4. 第167回日本循環器学会東北地方会, 12月, 仙台
- 1) 貝森亮太, 小武海雄介, 田村善一, 新保麻衣, 佐藤輝紀, 佐藤和奏, 飯野貴子, 関 勝仁, 飯野健二, 渡邊博之, 田中都信, 山浦玄武, 山本浩史(2018) 粘液腫と酷似した左房原発内膜肉腫の一例
  - 2) 新保麻衣, 長谷川仁志, 佐藤和奏, 渡邊博之(2018) 本学における医学科初年次生へのエコー実習・OSCEの試み

## (c) 研究会

## (ii) 地方規模

1. 第11回東北シミュレーション医学医療教育研究会, 5月, 秋田
  - 1) 長谷川仁志(2018) 様々な目的に向かって挑戦するシミュレーション教育のパワーを全開にすべき時代—すべては患者安全のために—
2. 第39回秋田県リハビリテーション研究会, 6月9日, 秋田
  - 1) 利 緑, 安藤秀明, 高橋裕介, 相原健志, 新保麻衣, 小坂俊光(2018) 心臓リハビリテーションに対する看護学生の認識～初めての実習を経験して～
3. 第12回東北シミュレーション医学医療教育研究会, 12月, 仙台
  - 1) 大嶋重敏, 守時由起, 奥山 学, 福田浩和, 塚本和仁, 高橋甘未, 三浦かおる, 館澤和恵, 渡邊慈子, 池田 舞, 戸澤博志, 長谷川仁志(2018) 緊急超音波検査により容態悪化患者を効果的に鑑別するための研修医向け訓練

- 2) 守時由起, 大嶋重敏, 渡邊慈子, 池田 舞, 長谷川仁志(2018) あきた医師総合支援センターによる「ハワイ大学 SimTiki シミュレーションセンター開催日本人研修医向けコース」への参加支援について

## そ の 他 講 演

1. 静脈注射新人対象研修会: 秋田大学医学部附属病院, 2月, 秋田
  - 1) 長谷川仁志(2018) 「静脈注射の実施に関する指針」について
  - 2) 長谷川仁志(2018) 安全に静脈注射を行うための危険な注射ランキンク
2. Post-CC OSCEに関するFD: 山形大学, 2月, 山形
  - 1) 長谷川仁志(2018) 卒業時16ステーションPCC-OSCE実施のエッセンスと、それに向けた初年次からの取り組み—新モデルコアカリキュラム時代の方向性—
3. 文部科学省医学教育課における講演, 3月, 東京
  - 1) 長谷川仁志(2018) 新モデルコアカリキュラム・分野別認証評価時代における国情に合ったシームレスな卒前卒後医学教育改革の試み—医学科1年次OSCEから生涯教育まで: 症例・事例ベースのアクティブラーニングで各分野統合教育を推進する—
4. 平成29年度e-ラーニング実践報告会: 秋田大学, 3月7日, 秋田
  - 1) 新保麻衣(2018) Web Classを活用した医学科初年次生への経胸壁心臓超音波実習
5. 薬剤師のためのバイタルサイン研修会, 3月, 秋田
  - 1) 長谷川仁志(2018) 薬剤師のための心臓・肺・胸部聴診のポイント
6. 平成30年度 新医師歓迎レセプション, 4月, 秋田
  - 1) 長谷川仁志(2018) 新専門医制度について
7. 平成30年度 地域で働く医療職のためのフィジカルアセスメント講座, 6月, 秋田
  - 1) 長谷川仁志(2018) 循環器系アセスメント
8. 高校生を対象とした医師育成教育事業: 医師育成教育に係る講演, 6月, 秋田
  - 1) 長谷川仁志(2018) 秋田大学医学部 教育・

(192)

社会環境医学系 医学教育学講座

- 臨床・研究 2017—世界と直結して秋田・日本・世界の医学・医療を充実— 秋田高校
9. 第15回秋田県臨床研修協議会医師臨床指導医ワークショップ, 7月, 大潟村
- 1) 長谷川仁志 (2018) 医学教育の新しい流れ—新専門医制度に向けて— (ランチョンセミナー)
  - 2) 長谷川仁志 (2018) コミュニケーションスキルについて考える・医師-患者関係構築, 医療面接等をいかに指導するか
10. 高校生を対象とした医師育成教育事業: 医師育成教育に係る講演, 7月, 秋田
- 1) 長谷川仁志 (2018) 秋田大学医学部 教育・臨床・研究 2017—世界と直結して秋田・日本・世界の医学・医療を充実— 秋田南高校
11. 平成30年度第1回医学部医学教育FD, 7月, 秋田
- 1) 長谷川仁志 (2018) 医学医療総合講義の進め方
12. 養護教諭が行うフィジカルケア研修講座, 7月, 湯上
- 1) 長谷川仁志 (2018) 学校における救急対応アナフィラキシー対応エッセンス
13. 第10回日本医師会「指導医のための教育ワークショップ」, 9月, 秋田
- 1) 長谷川仁志 (2018) 卒前教育はこう変わった
  - 2) 長谷川仁志 (2018) 研修プログラムの立案: 作業テーマの決定と研修目標の作成
  - 3) 長谷川仁志 (2018) 研修方式の作成
  - 4) 長谷川仁志 (2018) これからの卒後臨床研修に向けての期待と新専門医制度に向けての初期研修を考える
  - 5) 長谷川仁志 (2018) 研修評価の実施計画の作成
  - 6) 長谷川仁志 (2018) フィードバック技法 (これからの理想的指導医とは)
14. 平成30年度 地域医療を支えるドクター育成事業メディカルセミナー1 (2年), 10月, 秋田
- 1) 長谷川仁志 (2018) バイタルサイン
  - 2) 長谷川仁志 (2018) 秋田大学医学部40年の歩み
15. 平成30年度 地域医療を支えるドクター育成事業メディカルセミナー2 (2年), 10月, 秋田
- 1) 長谷川仁志 (2018) バイタルサイン
  - 2) 長谷川仁志 (2018) 秋田大学医学部40年の歩み
16. FDワークショップ (秋田大学医学部), 11月, 秋田
- 1) 長谷川仁志 (2018) 評価方法・学生実習手帳・指導医ポケットガイドについて
17. 第12回レジデント・スキルアップキャンプ2018, 11月, 大潟村
- 1) 長谷川仁志 (2018) 頻度の高い主要症状の臨床推論ピットホール
  - 2) 長谷川仁志 (2018) 新専門研修について
18. 平成30年度先進医療及び医療サービスに関わるプロジェクトコンペ (秋田大学医学部附属病院), 11月21日, 秋田
- 1) 相原健志, 工藤尚也, 高橋裕介, 新保麻衣他 (2018) ワイヤレス12誘導心電計を用いた歩行負荷試験の試み
19. 平成30年度 地域医療を支えるドクター育成事業 メディカルセミナー (1年), 12月, 秋田
- 1) 長谷川仁志 (2018) これからの医学教育と医師の魅力・プロフェッショナリズム

## そ の 他

1. ABS ラジオ「みんなの健康」, 2月14日放送
- 1) 長谷川仁志 (2018) 動悸について注意すること

Akita J Med 46 (Suppl) : 193~194, 2019

社会環境医学系

## 医療情報学講座

教	授			
准	教	授	片	平
非	常	勤	近	藤
助	教		大	佐
大	学	院	木	村
			昌	幸
			克	幸
			敦	
			匠	

## 著 書

- 1) 佐藤憲一, 川上準子 (編) 佐藤憲一, 川上準子, 星 憲司, 青木空真, 大佐賀敦 (著) (2018) 医療系のための情報リテラシー— Windows 10・Office 2016 対応—. 共立出版, 東京.

## 総 説・解 説

- 1) 大佐賀敦 (2018) HIS 全面更新で病院現場担当者は何に留意するべきか. 新医療 523, 28-31.

## 原 著 論 文

## B. 審査を経ない論文

- 1) 片平昌幸 (2018) E-Learning ストリーミング 動画教材の視聴状況分析と年次比較. 2018 PC カンファレンス論文集, 283-286.
- 2) 大佐賀敦, 近藤克幸 (2018) デスクトップ仮想化を用いた病院情報システム端末からの光学ディスク参照システムの構築—デバイス制御による参照端末の保護と仮想デスクトップに限定したアクセス許可の実現—. 医療情報学 38 (Suppl.), 302-305.

## 学 会 発 表

## B. 国内会議

## (a) 総会・年会

1. 平成 29 年度大学病院情報マネジメント部門連絡会議, 1 月, 旭川
  - 1) 佐川静子, 大場 明, 櫻庭和弥, 室井美佳, 小田嶋梓, 佐藤信一, 三浦 子, 大佐賀敦, 廣川 誠 (2018) 本院データウェアハウスの利用状況と定型コンテンツ化の検討
2. 2018 PC Conference, 8 月, 熊本
  - 1) 片平昌幸 (2018) E-Learning ストリーミング 動画教材の視聴状況分析と年次比較
3. 第 38 回医療情報学連合大会 (第 19 回日本医療情報学会学術大会), 11 月, 福岡
  - 1) 大佐賀敦, 近藤克幸 (2018) デスクトップ仮想化を用いた病院情報システム端末からの光学ディスク参照システムの構築—デバイス制御による参照端末の保護と仮想デスクトップに限定したアクセス許可の実現—

## (b) 地方会

1. 第 10 回日本医療情報学会東北支部総会・学術研究会, 3 月, 盛岡
  - 1) 大佐賀敦 (2018) 病院情報システム移行作業中の業務継続に向けた各作業行程での取組み

## (c) 研究会

## (ii) 地方規模

1. 第 128 回秋田市医学集談会, 9 月, 秋田
  - 1) 大佐賀敦 (2018) 医療 ICT 化の現状と, 診療

(194)

社会環境医学系 医療情報学講座

情報の電子化が目指す次世代の医療基盤（招待講演）

ケーション」Vol. 44, 2018年6月, コンピュータ利用教育学会

2) 片平昌幸 (2018) 「コンピュータ&エデュケーション」Vol. 45, 2018年12月, コンピュータ利用教育学会

そ の 他

1. 学術誌編集委員

1) 片平昌幸 (2018) 「コンピュータ&エデュ